

『絆』 よそ者、若者、ばか者

CMEO 事業部 遠藤光司

本号が発行される時には 2011 年も残り一ヶ月とわずか。そろそろ、一年を振り返る時期に差し掛かっている。今年も東北大震災、超円高、野田内閣誕生、四国・中国地方の台風被害、タイの洪水被害、なでしこジャパン世界一など、インパクトのある出来事が数多く起きた。少し気が早いが「今年の 10 大ニュース」的にまとめれば、トップにくるのはやはり 3.11 の東北大震災であろう。

発生から既に半年以上が経っているが、津波等により甚大な被害を受けた爪痕が今なお残る場所は少なくない。震災当日は筆者も帰宅困難者となり、その後の原発問題の影響により福島県いわき市が故郷である妻の両親と妹夫婦が筆者の自宅に避難。およそ一ヶ月の間は 3LDK のマンションに 9 人（+犬 1 匹、猫 1 匹）が暮らすことになった。

一方で、今回の震災は家族や地域の「絆」を再認識する機会ともなった。震災後にブライダル産業が盛況になったことは記憶に新しいし、地域の絆を取り戻そうと企画された祭りも各地で開催された。

そして、被災者と支援者との「絆」。行政をはじめ地域、民間企業、NPO、学校といった多様なグループ・団体、さらには個人レベルでの復興支援が継続的かつ活発に行われている。なかでも、今回は地域・商店街が復興支援に乗り出す事例が多く見受けられようと思われる。

例えば、人形のまちとして有名な岩槻エリア。NPO と岩槻の人形組合員有志が親族などを亡くされた被災者に対して、亡くなれた方の面影が感じられる人形を無料で提供している^{※1}。この取り組みをきっかけとして人形制作のための募金活動を兼ねたフリーマケットが開催され、地域活性化にも寄与しているようだ。

さいたま市にある高崎線宮原駅周辺エリアでは、地域の協同組合と大学とが共同で支援物資の提供を住民に呼びかけた。震災から 1 ヶ月後の 4 月下旬には、地元有志が物資の供給が滞っている避難所へと足を運んでいる。その後も、大学生が宮原駅や大宮駅の駅前で募金活動を行い、その募金で野菜と果物を購入。再度、被災地に届けている^{※2}。岩槻は人形、宮原では商学連携といった地域資源を活用した支援を行うことで、地域と地域との絆を強めているようである。

二つの地域のように復興支援を行うためには、その地域に賑わい（元気）がなければ難しい。「富貴にして善をなし易く、貧賤にして功をなし難し」である。

地域コミュニティの核となる商店街の疲弊、公共交通機関の赤字撤退などにみられる中心市街地の衰退が叫ばれて久しい。それを克服し、地域活性化につなげるためには「よそ者、若者、ばか者」といったの 3 種類の人間が必要とされている。「よそ者」は客観的な視点が地域を見ることで、住民の既成概念とは異なる新たな発想を生み出す。

その発想を具現化し、徹底してやり遂げる情熱を持つ「ばか者」、地域のしがらみを恐れずに実働部隊として行動を起こす「若者」。これらの連鎖が地域活性化の糧となるのである。

(幕末の長州藩でいえば、「よそ者」＝吉田松陰、「ばか者」＝桂小五郎・高杉晋作、久坂玄瑞ら、「若者」＝より若い世代の松蔭門下生といった感じであろう)。

ただ、現実的には地域活性化に関する人間のほとんどは本業をもっている。仕事の合間に縫つて各種の事業・行事に参加しており、慢性的な人的資源の不足が悩ましいところであろう。特にキーマンとなる「よそ者」の人材確保は大きな課題といえる。

これを、企業に置き換えてみると・・・。

少子高齢化のご時勢であっても「若者」はいる。自発的か否かは別として、道しるべを示せば行動すると期待したい。情熱をもって組織を引っ張る「ばか者」(変わり者?)も企業に1人、2人は見つけることができるだろう。

では、「よそ者」とは。中途入社組か、はたまたコンサルに代表される外部専門家か。グローバル化が進展する昨今は、海を渡ってきた上司かもしれない。

とりとめのない事を考えているうちに、ふと来年の抱負が頭に浮かんだ。来年こそは外国語を本格的に勉強しよう。人種を超えて「絆」を深めることは、今後のビジネスに不可欠であろうから。

※1 岩槻エリアの取り組みは「ヒナまち・岩槻 みんなで作る情報館」(<http://hinamahi.com/>)に詳しい。「被災者メッセージ」や「届いた方からの声」はぜひ一読を。泣けること間違いないし。

※2 宮原エリアの取り組みは、さいたま北商工協同組合 HP (<http://www.saitama-n.com/>)に詳しい。復興支援に限らず、グルメコンテストや120人合コンなど地域活性化に向けた多様な事業を行っているようである。

執筆者略歴：遠藤光司

2003年、株矢野経済研究所入社。樹脂やシート、成形品といった化学・素材分野の調査研究に従事。近年は太陽電池セル・モジュール、部材、装置をはじめとするエネルギー関連の調査をメインに担当。